



# Step up!

Ad : 〒849-1322 佐賀県鹿島市浜町甲4020番地  
 Tel : 0954-63-5245 FAX : 0954-62-6091  
 E-mail : tobu-kashima-j@education.saga.jp  
 HP : <https://www.education.saga.jp/hp/tobu-kashima-j/>

学校教育目標 **郷土を愛し・健やかな心身を育み・ともに伸びる**

## ～ 第64回 卒業証書授与式 ～

3月8日(金) 9:30から、第64回 東部中学校卒業証書授与式を本校体育館で行いました。卒業式当日は、晴天に恵まれましたが、少し肌寒い中での式となりました。卒業生は、学級担任の先生に先導され、少し緊張した面持ちで体育館に入場しました。会場には、ここ4年ほどは、新型コロナウイルス感染症の感染予防のために、卒業生、保護者、職員、数名の来賓、一部の在校生の入場で卒業式を行ってききましたが、久しぶりに20名ほどの来賓、保護者、東部中学校の在校生が出席して、卒業式を行うことができました。

私は、卒業式の式辞の中で次のような言葉を卒業生に送りました。

（前略）

「志」を同じくする「なかま」と出会うことになることでしょう。そして、「なかま」と協力することを覚え、絆も深まってきます。皆さんがこれから生活をしていく中で、「志」を同じくする「なかま」を作り、その「なかま」を大切にしてください。その人達はあなたに困った時に手助けをしてくれます。また、うまくいかない時はあなたを励ましてくれることとなります。

刻々と移り変わる世の中で、昔も今も逞しく生きていくためにはともに助け合える「なかま」が必要になってくるはずですよ。

皆さんは、東部中学校で「ともに伸びる」という言葉を胸に三年間、学校生活を送ってきました。東部中学校で胸に刻んだ「ともに伸びる」ということを忘れず、それぞれの未来で、更に「Step Up（ステップアップ）」してください。

（後略）

卒業式は、卒業生のきちんとした返事からの卒業証書授与、在校生の送辞、卒業生の答辞、在校生の「あすという日が」と卒業生の「仰げば尊し」の式歌と生徒たちの頑張りで引き締まった整然とした卒業式となりました。主役の卒業生だけでなく、それを支えて盛り上げてくれる在校生の存在の大きさを感じました。

圧巻だったのは、卒業式後の「卒業生の歌」の披露でした。東日本大震災で大きな被害を受けた福島県南相馬市立小高（おだか）中学校の生徒たちと小田美紀先生によってつくられた『群青』を堂々と歌い、会場の方々を感動の渦に巻き込みました。私の中には、卒業生の歌声の感動がまだ残っています。



卒業生への卒業証書授与



卒業生代表の答辞





鹿島市長からの祝辞



在校生代表の送辞



『群青』を歌う卒業生

## ～ 3年生の卒業に向けて ～

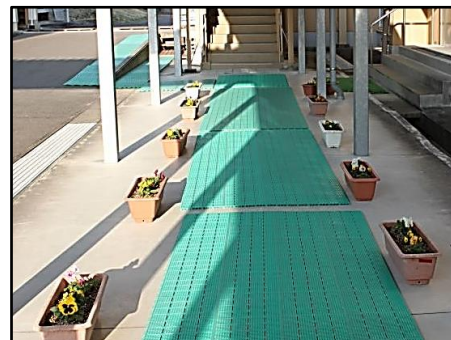
厚生委員会の1・2年生が、プランターに花を植えました。このプランターは、普段は、生徒昇降口や事務室前入り口に飾っていますが、卒業式の日には、卒業生が式場へ向かう通路の花道として飾りました。また、式会場のステージ付近にも飾りました。1・2年生の厚生委員たちは、一つ一つ丁寧に苗をプランターに植えていました。



花を植える厚生委員



玄関に飾ったプランター



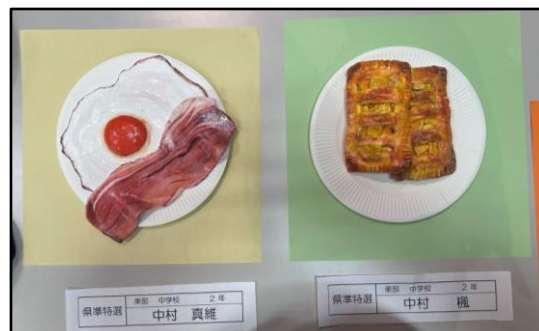
体育館までの通路

卒業式会場の体育館を整え、その他にも3年生の卒業をお祝いして送り出すために3階の廊下には、1・2年生の生徒全員から感謝のメッセージを書いた「感謝の木」を掲示したり、卒業生の教室をきれいに飾ったりしました。



## ～ 美術の立体作品の展示 ～

美術の授業で制作した立体作品が、鹿島市生涯学習センター「エイブル」1階ロビー（図書館前）に展示されています。東部中の作品は、紙粘土で作った立体作品に絵の具で色を付けて、ニス塗りを仕上げてありました。どの作品も実物そっくりで、とてもよくできていました。



展示された美術の立体作品